

徳くほ報

No.0052

発行

令和4年2月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.send](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)

[ai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



ホームページ

tokusenji-

sendai.com



Instagram

tokusenji.sendai



TOKUSENJI.SENDAI

お待ち受け大会へのお誘い



真宗大谷派で二〇二三年、来年の春に京都の本山東本願寺で、宗祖親鸞聖人のお誕生八百年と浄土真宗が開かれて八百五十年をお迎えする法要が勤まります。その時には徳泉寺からも皆様と京都へおまいりさせていただきます。と考えていますので、またお声がけさせていただきます。

それに先がけて二〇二二年、今年の六月に仙台教区として親鸞さんのお誕生と立教開宗の法要を「お待ち受け大会」として勤めることになりましたので、皆様へご案内いたします。

仙台教区 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃

お待ち受け大会 帰敬式（おかみそり）

6月11日(土)

会場 清月記
仙台迎賓館
斎苑別館大ホール
青葉区木町通2-2-13

13:00

帰敬式（おかみそり）

14:30

お待ち受け大会開会
内局挨拶
勤行（同朋唱和）

おおたにちょうゆう
大谷 暢 裕

門首挨拶

15:00

記念講演

にかいどうゆきとし

二階堂行壽氏

東京教区専福寺住職
真宗大谷派首都圏教
化推進本部本部長

16:30 閉会

お待ち受け大会へのご参加・帰敬式受式を希望される方は徳泉寺へお申し込みください。また第二土曜日に開催されるため、六月の同朋会は移動同朋会としてお待ち受け大会への参加に替えさせていただきます。

慶讃法要
テーマ



南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

人は、この世に生まれて生きて、納得できる人生であることを願う。けれども、本当の生まれた意味や生きがいは、自分がどのようなものとして生きるのかを知ることなく、また、自分の心の闇について考えることなしに得られるものではない。（中略）

悲しみや苦しみの連続であっても、そのことが人生を決定づけるものではない。仏の本願に出遇うことで、この世に誕生した意味に目覚め、人生をいただくことが始まる。私たち一人ひとりの誕生の意味を、親鸞聖人の御誕生から考えることである。

（真宗大谷派教学研究所有長 楠 信生）

慶讃法要のリーフレットの言葉です。浄土真宗が開かれて八百年、あらためて南無阿弥陀仏の教えをたしかめ、私たちが誕生して生きるということの意味を考える場をもちたい。そういう法要を皆様といっしょにお迎えしたいと思えます。

ききようしき
帰敬式（おかみそり）

帰敬式は、「おかみそり」とも言われ、仏の教えに自らの人生を問いたずね、真宗門徒として新たな人生を歩みだすことを誓う大切な儀式です。受式されると「法名」が授与されます。

今回のお待ち受け大会には本山東本願寺の住職である御門首（ごもんしゅ）が来られて、儀式を行います。法名は本山からいただくことも、徳泉寺でつけさせていただきますこともできます。このご縁に「帰敬式」を受けてみてはいかがでしょう。